

# 令和3年度 基本方針

一般社団法人富山県専修学校各種学校連合会

専修学校各種学校は、これまで長年にわたって専門的かつ実践的な知識・技能取得のための我が国の中核的な職業教育機関として、求められる人材の育成を通して地域社会に貢献してきました。

一方、近年のわが国を取り巻く環境は、新興国市場の経済のグローバル化とITの発達により、かつて経験したことのないスピードで大きく変化する「大変革化時代」が到来し、国内外の課題が増大、複雑化する中で科学技術イノベーション推進の必要性が出てきております。

こうした中、昨年からの新型コロナウイルス感染症により、我が国におけるデジタル化・IT化の遅れが改めて顕在化しました。これまで幾度となく生産性向上が唱えられてきたが、改めて人口減少・労働力不足などの難題を乗り越えるため、デジタルトランスフォーメーションによる高付加価値を生む社会基盤の整備が進展している中で、ウイズコロナ、アフターコロナに向けた人材育成が極めて重要であります。

このような状況下、地域貢献のための産業振興を支えるためには、産業構造の変化や労働力のグローバル化に対応できる質の高い人材の育成と確保が急務となっており、専修学校、各種学校には、多様な社会ニーズを踏まえた教育を提供していくことがより一層強く求められております。

国においては平成26年度から、更なる質の高い職業教育を推進する制度として「職業実践専門課程」が制度化されるとともに、専門職業人の養成を目的とする新たな高等教育機関が制度化されました。教育活動の全体を通じた体系的・系統的な生涯学習及び職業教育がいかに重要であるかを社会が認知しつつあるといえます。

また、高大接続改革（高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜）を通じて学力の3要素を確実に育成・評価する取り組みが進められ、さらには、今後の専修学校振興の指針となる「これからの専修学校教育の振興のあり方について」が答申（平成29年3月）され、その柱として「人材養成機能の向上」、「質の保証・向上」、「学びのセーフティネットの保証」が掲げられております。

今後はこの指針を踏まえつつ、変化する社会情勢に合わせて、専修学校各種学校が時代のニーズを踏まえ、「地域創生」のための新しい価値・役割を生み出すことが教育機関としての使命と考えます。

もとより、生涯にわたり学習活動と職業生活を営むことで、職業に必要な能力を習得し、向上できる社会の仕組みを構築していくことが必要であり、多様な学習ニーズへの対応として「単位制・通信制学科」の活用など、現行制度の充実改善方策の推進に積極的に対応するとともに、学校の自己点検評価や第三者評価への取り組み強化や職業実践専門課程の認定など、より実践的な職業教育の質保証の確保、向上に向けた組織体制の整備が求められています。

さらに一億総活躍社会・人生100年時代の働き方改革を推進するリカレント教育など、多様なニーズに対応した教育プログラムを提供できる創意工夫や環境整備等への取り組みが重要になってきます。

加えて広く県民や産業界等に働きかけ、これらの制度内容等に対する理解と支持を得ることはもとより、必要な情報を的確かつ迅速に各会員校が共有し、相互の参加意識を高めて強い結束を図ることが肝要であります。

専修学校各種学校があらゆる世代のための学びの場として、県内の学校・企業等との緊密な連携・協力、社会人の学びの場の構築、専修学校各種学校への財政的支援の充実・拡充への積極的な活動の展開が大切だと考えます。

上記の状況をもとに重点目標として、以下の具体的な項目の達成に努めます。

- 1 職業教育の啓発を更に進め、職業教育の中核を担う教育機関としての責任の遂行
- 2 職業実践専門課程の設置促進
- 3 家庭、学校、企業、自治体などの地域社会への広報活動の推進
- 4 各種事業に対する公的支援の創設、充実、拡充
- 5 自己点検・自己評価の情報公開
- 6 連合会組織の活性化